

回答を求めたる事

特別委員 三和 國章 宮崎勝之

右承認せられたるに付き更に發會式準備に關する打合をなしたるに對し左の如く決定的言明を與へられたり發會式準備は明二十三日組合長代理都竹氏出席協議の上準備委員を編成し四月十八、九日頃までに夫れノ準備を終へ同二十日に愈々發會式を舉行する事に豫定す(外部に發表せざる事組合長の言に依れば日本海員の最も權威ある大組合を組織す茲に發會式を舉行するに當り第一に考慮せざるべからざるは對政府側及び其の他必要なる方面の了解を得て萬遺憾なからしめんが爲め首相を始め大皇位に著名の紳士諸君に對し發會式の招待狀を發し臨場を求め正々堂々たる眞に權威ある發會式を擧げん事を望む云々(以下省略)

大正十年三月二十七日

日本海員組合創立事務所

御 届

今般私儀横濱へ出張ヲ命セラレ候處別紙診斷書ノ通り病氣ノ爲出張致シ兼候ニ付此段御届ケ仕リ候也

大正十年三月二十五日

楠町二丁目二十八
創立委員 三和 國章

日本海員組合創立委員御中

診 斷 書

一、病名 胃腸加太兒

三和 國章

五十四歳

右者前記ノ疾病ニ罹リ自今一週間安靜加療可然及診斷候也

大正十年三月二十四日

神戸市元町二丁目八十九番屋敷

醫師 出水 仁 吾

委任 狀

本創立實行委員會ハ委員醍醐資祐氏ニ左ノ權限ヲ委任ス

一、創立實行委員會ヲ代表シ貴會代表者及ヒ幹部諸君ト協議ヲ遂ケ創立ノ實ヲ擧ケン事ヲ

三月二十五日

神戸市榮町六丁目 六榮館内

日本海員組合創立事務所

社団法人 海員共同救濟會々頭男爵 柴山矢八閣下

日本海員組合創立費決算報告

金叁百七拾六圓四拾貳錢也

自九年十一月二十六日間總計
至十年三月十六日